

『高原の風になって』 寸評

- ・ m.13-14 四分休符の絶大な効果
- ・ m.5-6, 9-10 Fl.II アーティキュレーション まさにほしいものをほしいところに
- ・ 全体の流れにいやみがなく聴取後に満足が広がる
- ・ 楽器の選択と楽想に相乗効果があったようだ
- ・ 文学的かつ音楽にふさわしいタイトル

完成度をさらに上げるために

- ・ ♩=72 くらいゆっくりのほうがあわただしくなくきこえる
- ・ テンポ設定はいちばん細かい音符がならんでいるところから逆算しよう
- ・ m.16 b.1 Fl.II ししゅう音でファ#にしよう
- ・ m.11 b.4 Fl.I スラーがほしい
- ・ 二重奏なのでグループ括弧はいらない→



- ・ m.7-9 Fl.II もう少しダイナミックに



- ・ m.8 ぜひクレッシェンドを

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

おまけたたしかなたごたえがあります。

持魔 勉